



明化の教育

7月号（第480号）
令和2年6月30日
文京区立明化小学校
校長 熊倉 勝

ありがとう私たちの校舎 つなごうみんなの思い

校長 熊倉 勝

学校が再開してから、1か月が過ぎました。この間、元気に登校する子供たちの姿を多く見ることができ、うれしい限りです。本当に頑張っているなど感じます。さらに、うれしいことがありました。それは、PTA会長の長友建太朗様がこの1か月間毎日、分散登校の日は1日に2回も登校時に玄関に立ち、子供たちに挨拶をしてくださったことです。子供たちも次第に慣れ、笑顔で挨拶を交わす姿は、見ていて微笑ましく感じます。「明化小学校の子供をみんなで育てる。」を実感できるひと時です。

さて、校舎改築工事も順調に進み、この夏休み中に仮設校舎に引っ越します。どんな地震にも耐えるとの強い決意が感じられる太い柱。磨き込まれた壁板。角が擦り減った階段。アーチ形の高い天井。往時の職人の技が光る数々の建具等、約90年間の歴史を刻み、本校に関わった多くの教職員、子供たち、保護者、地域の皆様の思いが詰まった誇りある校舎に別れを告げる時がいよいよやってきます。学校では、今年度「ありがとう私たちの校舎 つなごうみんなの思い」をキャッチフレーズに学校に対する誇り、さらには感謝の気持ちを育む教育活動を行っています。

例えば、6年生は、家庭科「ありがとう私たちの校舎」の学習で「年月を重ねて美しい場所を探す。」という活動を行いました。実際に6年生は、次のような場所を見つけていました。

「玄関前の花壇：記念碑と花壇が一緒だから、これこそ明化だ！と思った。」

「階段の一段目：他の木で作られた段と違って、花こう岩のような白と黒の段があった。一段目であるから、がっしりと作ろうと考えたのかもしれない。」

この活動を通して、6年生は、本校の歴史に思いを馳せ、歴史とともに歩んできた校舎に対する感謝の気持ちをもつことかできたのではないのでしょうか。

今後は、代表委員会で話し合い、全校を挙げての活動を計画する予定です。新型コロナウイルス感染症予防のため全校での集会活動はできませんが、お世話になった校舎に対する感謝の気持ちを表すことができればと思います。どのような活動が子供たちによって計画されるのかとても楽しみです。このように校舎改築を契機に、教育活動を工夫して、自校の歴史、文化に対する興味・関心を喚起し、愛校心と学校に対する感謝の気持ち、さらには先人の思いを受け新たな歴史を自分たちで作ろうとする強い気持ちを大切に育んでいきたいと思っています。

残り1か月で1学期の授業が終了となります。7月31日には新学習指導要領に対応した通知表をお渡しします。今学期、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとして、本校の教育活動に多くのご理解・ご協力をいただき本当にありがとうございました。